

作例のポイント

Case Study Points

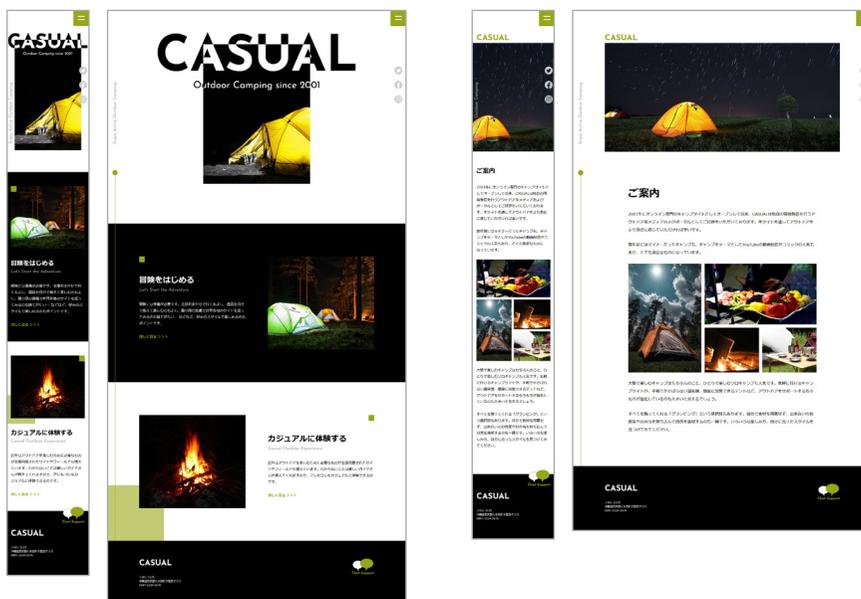


「HTML&CSS コーディング・プラクティスブック 5」の作例におけるポイントや使用するテクニックなどについてまとめましたので、参考にしてください。

総括

今回作成するページは装飾的な要素が多く、他のパーツに合わせたサイズ調整、重なり順、配置などについても細かく指示されています。レスポンスも含めてレイアウトを実現するのは難しく見えてしまいます。

ただし、IE 対応は不要なため、CSS グリッドを使うことが可能です。そのため、今回のコーディングでは、新しいツールである「CSS グリッド」をいかに使いこなすかがポイントとなっています。



デザインキャンプを作るためにデザイナーが使用したガイドやグリッドをそのままCSSグリッドで使う

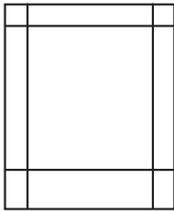
CSS グリッドでは「どのような構造のグリッドを作ってレイアウトをコントロールするか」を考えるのが難しいのですが、今回のデザインキャンプには、デザイナーがレイアウトをコントロールするために使用したガイドやグリッドが含まれています。

デザインツールで使用されるガイドやグリッドは、そのものずばり「パーツの配置やレイアウトを整えるためのもの」です。そのため、こうしたガイドやグリッドと同じ構造のラインをCSSグリッドで作成し、キャンプと同じようにラインに沿ってパーツを配置していくことで、効率よくレイアウトを形にしていきます。



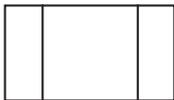
1つのグリッドですべてのレイアウトをコントロールしない & グリッドはできるだけシンプルな構造にする

1つのグリッドですべてのレイアウトをコントロールしようとすると、グリッドの構造が複雑になり、設定の管理も難しくなります。そのため、ページ全体の枠組みは「ページグリッド」で、メインコンテンツを構成する各パーツは「パーツグリッド」でレイアウトします。このとき、グリッドは最低限必要なラインで構成し、できるだけシンプルな構造になるようにしています。



Page Grid

ページグリッド



Parts Grid

パーツグリッド



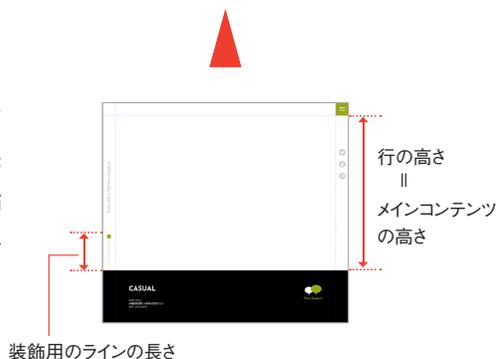
CSSグリッドで重ねる

CSS グリッドでは position を使わなくても、配置先を揃えることでパーツを重ねることができます。これを利用して次のようにメインコンテンツを配置し、ページグリッドでレイアウトした装飾パーツを重ねてページを完成させます。グラフィックソフトのレイヤー機能のような感覚で使えるとも言えます。



メインコンテンツに合わせて装飾用のラインの長さを変える

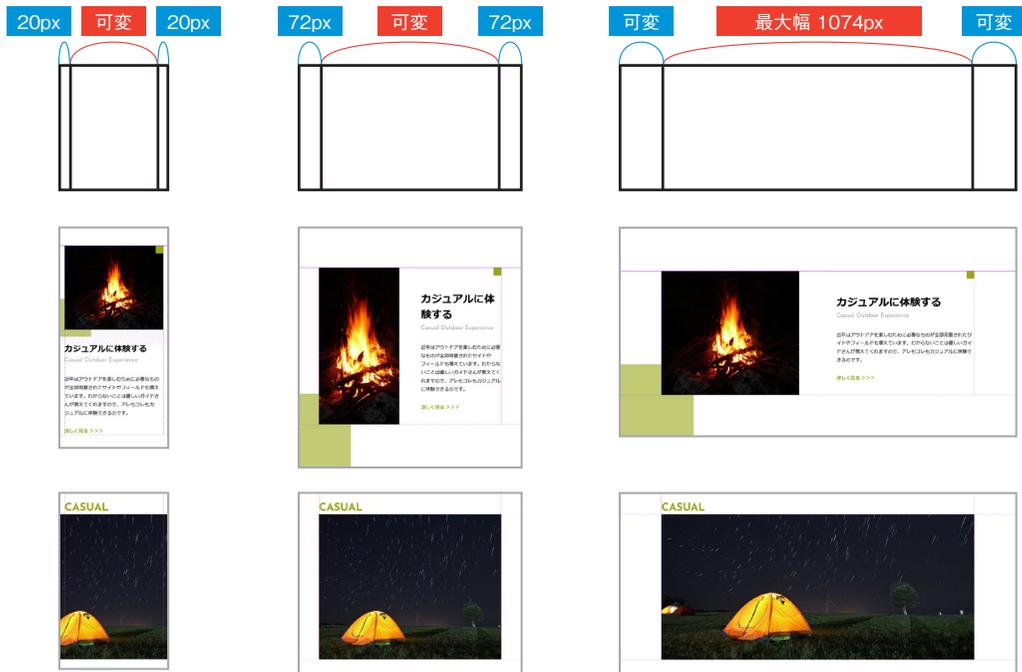
CSS グリッドでは行列のサイズを配置したパーツに合わせることができます。同時に、パーツ側のサイズを配置先の行列に合わせることもできます。これを利用し、装飾用の丸付きラインの長さ（高さ）がメインコンテンツに合わせて伸縮するように設定します。



左右の余白もグリッドで管理する

左右の余白をグリッドで管理するかどうかは、ケース・バイ・ケースです。今回は各パーツのレイアウトがシンプルであることと、余白部分に配置したい要素もあることから、3列のグリッドを作成し、1列目と3列目で余白を管理しています。

ページグリッドでは左右の余白サイズは固定ですが、パーツグリッドでは次のように3段階でサイズが変わるように設定します。



常にページの左端まで表示した形でレスポンスにする

緑色の四角形は一部分を画像と重ね、常にページの左端まで表示した形で横幅を可変にします。これを実現するため、四角形はグリッドの1列目に配置し、列に合わせた横幅で表示するように設定しています。



敷き詰める系のレイアウトにグリッドエリアを利用する

ギャラリーの画像はレスポンシブで配置を変える必要がありますが、画像同士を重ねたりする必要はありません。そのため、CSS グリッドに用意された機能の1つである、敷き詰める系のレイアウトに適した「グリッドエリア」を利用して設定しています。



A A
B C
B D



B A A
B C D

ギャップで間隔を調整する

画像やテキストの間隔を調整する際には、CSS グリッドのギャップで余白を挿入しています。



画像の間にギャップを挿入。



リンクの間にギャップを挿入。



見出しや段落の間にギャップを挿入。



画像とテキストの間にギャップを挿入。

縦横中央に配置する

縦横中央に配置したいときにも CSS グリッドを使用しています。



テキストが重なった部分を白黒反転する

ヒーローヘッダーでは CSS グリッドを使ってテキストと画像を重ね、CSS の `mix-blend-mode: difference;` を使ってテキストが重なった部分を白黒反転しています。



Windows環境のブラウザでは常にスクロールバーを表示する

Windows 環境のブラウザでは常にスクロールバーを表示し、メニューの開閉でページの横幅が変わり、レイアウトがカクつくのを防ぎます。ただし、モバイルデバイスでの表示に影響するのを防ぐため、この設定はメディアクエリの「pointer」と「hover」を利用し、PC 環境のブラウザのみに適用します。

